

乳児期から顔・全身症状が続き 2 歳で膝裏・肘内側を残すまで軽減した乳児アトピーの経過 (2 歳男児)

症例 ID：001-02-YS | 記録日：2015 年 11 月 19 日

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃に顔の一部へ湿疹が出始め、生後 3 か月頃には顔全体へ広がり、掻きむしって泣く状態となりました。
生後 5 か月の 2014 年 1 月に松本医院を受診し、漢方入浴と外用処置を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	この症例でのステロイド使用歴は確認できません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	確認できません。
中止時期	確認できません。
来院前／後	来院前・来院後とも使用歴は確認できません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1～3 か月	発症	顔の一部から顔全体へ湿疹が広がり、かゆみで泣くようになりました。
生後 5 か月	治療開始	漢方入浴と外用処置を開始しました。
開始～1 か月	ピーク	顔、頭部、全身の湿疹、顔面のむくみ、浸出液が強くなりました。
開始 2～3 か月	浸出の変化	浸出液が止まり、じゅくじゅくした部位が減りました。
開始 4～10 か月	症状の波	体の湿疹は減りましたが、顔の赤みが続きました。
開始約 1 年半	治療変更	体の湿疹はなくなり、顔の赤みに対する処置へ変更しました。
生後 24 か月頃	皮膚の変化	顔と体の赤みがなくなり、膝裏と肘内側に一部湿疹が残る状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始から 1 か月頃までに、顔、頭部、全身の湿疹、顔面のむくみ、浸出液が重なった時期です。

5. 困りごと

- 顔全体のかゆみで掻きむしり、泣く状態がありました。
- 毎日の漢方入浴や外用処置に時間と労力を要しました。
- 顔の赤みが長期間残り、症状の変動が大きい時期がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は顔面のむくみと全身の浸出を伴う時期を経ましたが、2～3 か月頃には浸出液が止まり、体の湿疹も徐々に減りました。2 歳頃には顔と体の赤みがなくなり、膝裏と肘内側に一部湿疹が残る程度となりました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。